

矢信の現況

2025

(2025年9月中間期)



静岡県医師信用組合は、

医業に従事する医師の先生方の経営およびライフスタイルのお手伝いをする

静岡県医師会に関連する医師専門の金融機関です。

〈私たちの行動宣言〉

- ・医師専門の相互扶助の精神を基本とし、公共的使命の重みを常に自覚し、健全な業務運営の遂行を通して揺るぎない信頼の確立を図ります！
- ・創意・工夫を活かして医師の先生方のニーズに応え、医業に携わる組合員およびご家族の皆様の経営ならびに生活の健全な発展に貢献します！
- ・上記を通じて地域住民の医療および健康管理に貢献します！

We,for Doctor,for Regional healthcare –シンフォニーのように。

静岡県医師信用組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-3 静岡県医師会館2階

TEL 054-246-7740 FAX 054-247-3350 ☎ 0120-144-493

ホームページ <https://www.shizuokaishin.co.jp/>

E-mail ishin-bk@po2.across.or.jp



(HPをご覧ください)

ごあいさつ

組合員の皆様には、平素より当組合の運営につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和7年度上半期(令和7年4月～令和7年9月)における当組合の経営情報をとりまとめました。

お取引の参考にしていただければ幸いでございます。

今後も皆様方のお役に立つ組合として、役職員一丸となって努力する所存でございますので、一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

静岡県医師信用組合 理事長 加陽 直実

主要勘定について

当上半期(令和7年4月～令和7年9月)の概況

●預金積金	令和7年9月末残高は653億6千2百万円で、年間12億6千6百万円の減少となりました。 (年間伸び率▲1.90%)
●貸出金	令和7年9月末残高は231億7千4百万円で、年間10億5千4百万円の増加となりました。 (年間伸び率4.77%)
●有価証券	令和7年9月末残高は397億7千3百万円で、年間23億4千2百万円の減少となりました。 (年間増加率▲5.56%)
●経常利益	当上半期計上額は1億1千万円で前中間期比7百万円の減少となりました。
●コア業務純益	当上半期計上額は1億1千6百万円で前中間期比7百万円の減少となりました。
●自己資本比率	22.25%となり国内基準(4%)を大幅に上回る高い健全性を維持しております。

<当半期の概況>

(単位:千円)

	①令和5年9月末	②令和6年9月末	③令和7年9月末	増減(③-②)
預金積金残高	68,557,325	66,629,210	65,362,658	-1,266,552
貸出金残高	20,824,890	22,120,001	23,174,351	+1,054,350
有価証券残高	42,806,855	42,116,160	39,773,384	-2,342,776
経常収益	277,803	285,690	331,752	+46,062
経常費用	174,024	167,064	220,775	+53,711
経常利益	103,778	118,626	110,977	-7,649
コア業務純益	115,056	124,691	116,866	-7,825
自己資本比率(%)	19.68%	20.74%	22.25%	+1.51ポイント
組合員数(人)	2,725	2,714	2,751	+37

社会的責任と地域貢献活動(地域密着型金融)の取組について

当組合の地域密着型金融の取組についてご報告申し上げます。

1. 当組合の基本理念

協同組合の金融機関として、相互扶助の精神に基づき、金融面を通して組合員の皆様の医業経営に関する事業の発展に役立つと共に、地域住民の医療および健康管理に貢献することを理念としております。
融資・文化・社会貢献活動面から組合員の皆様のお役に立つよう努めてまいります。

2. 医業経営支援

- ①取組方針:組合員の皆様の経営課題などには経営実態を把握する中でご相談に誠実に対応してまいります。
- ②態勢整備:組合員の皆様に税理士や弁護士などの専門家から最善のアドバイスを提供できるよう担当者を配置しております。
- ③取組状況:医業の特性を踏まえた円滑な資金供給に努め、貸付条件の変更など組合員の皆様のご要望に適切に対応するよう取り組んでおります。また、地域医療を堅持するための大きな課題となる医業継承のご支援等にも積極的に取り組んでおります。

3. 融資を通した貢献

組合員の皆様のための組合であることを第一に融資を推進しております。
①お申し出にはすぐに結論を出し、迅速な手続きに努めます。
②融資利率はできるだけ低くし、組合員の皆様への収益還元に努めます。
③健全経営に努め、組合員の皆様から一層の信頼が得られるよう努めます。

4. その他の取り組み

- ①令和4年4月から県民の健康保持・増進を目的に静岡放送株式会社が提供しているSBSラジオ「サンデークリニック」の制作協力を静岡県医師会とともに行っています。
- ②令和6年3月、静岡県医師会、静岡銀行との医療承継分野における連携協定を締結し、持続可能な地域医療提供体制の維持に資する活動に取り組んでいます。

中間決算の状況

■貸借対照表

(単位:千円)

資産	金額	負債及び純資産	金額
現金	14,433	預金積金	65,362,658
預け金	9,209,640	普通預金	21,498,864
有価証券	39,773,384	定期預金	42,821,845
国債	6,869,890	定期積金	1,041,020
地方債	3,441,650	その他の預金	928
社債	23,961,885	当座借越	1,400,000
株式	200	その他の負債	144,017
その他の証券	5,499,759	未払費用	53,888
投資信託		給付補填備金	3,726
外国証券	5,499,759	未払法人税等	39,373
貸出金	23,174,351	前受収益	20,743
手形貸付	339,840	職員預り金	20,737
証書貸付	22,834,511	その他の負債	5,547
その他資産	141,965	賞与引当金	6,895
全信組連出資金	38,000	役員賞与引当金	1,575
未収収益	92,091	退職給付引当金	27,234
仮払金	1,039	役員退職慰労引当金	25,024
その他の資産	10,833	繰延税金負債	
		債務保証	119,570
有形固定資産	18,253	負債計	67,086,975
建物	7,925	出資金	28,730
その他の有形固定資産	10,327	普通出資金	28,730
無形固定資産	89,285	利益剰余金	8,678,060
ソフトウェア	16,414	利益準備金	31,680
その他の無形固定資産	72,871	その他利益剰余金	8,646,380
繰延税金資産	26,212	特別積立金	8,548,050
債務保証見返	119,570	(うち目的積立金)	
貸倒引当金	△ 69,263	当期末処分剰余金	98,330
(うち個別貸倒引当金)	△ 50,235	(中間純利益)	80,489
		組合員勘定計	8,706,790
		その他有価証券評価差額損	△ 3,295,933
		評価・換算差額等合計	△ 3,295,933
		純資産	5,410,857
合計	72,497,833	合計	72,497,833

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■損益計算書

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
経常収益	331,752	経費	141,133
資金運用収益	327,603	人件費	92,815
貸出金利息	123,302	物件費	48,179
預け金利息	22,684	税金	138
有価証券利息配当金	180,093	経常利益	110,977
その他の受入利息	1,523	税引前中間純利益	110,977
役務取引等収益	4,035	法人税、住民税及び事業税	27,724
受入為替手数料	715	法人税等調整額	2,762
その他の役務収益	3,320	法人税等合計	30,487
その他業務収益	113	当期純利益金	80,489
国債等債券売却益		繰越金(当期首残高)	17,841
国債等債券償還益	4	当期未処分剰余金	98,330
その他の業務収益	108		
その他経常収益			
貸倒引当金戻入益			
(内個別貸倒引当金戻入益)			
償却債権取立益			
経常費用	220,775		
資金調達費用	66,943		
預金利息	65,917		
給付補填備金繰入額	979		
その他の支払利息	47		
役務取引等費用	8,056		
支払為替手数料	283		
その他の支払手数料	7,772		
その他業務費用	4,642		
国債等債券売却損	133		
国債等債券償還損	83		
貸倒引当金繰入	237		
雑損	4,188		

■主な収益指標

(単位:千円)

業務粗利益	252,348	実質業務純益	116,655
業務粗利益率	0.65%	コア業務純益	116,866
業務純益	116,417		

■有価証券の時価情報

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	貸借対照表上額 (償却後、時価評価前)	時価	差額	うち益	うち損
国債	-	-	-	-	-
地方債	2,400	2,252	△ 147	-	147
社債	1,898	1,816	△ 81	-	81
その他	600	577	△ 22	-	22
合計	4,898	4,847	△ 250	-	250

その他保有有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	取得価額 (償却後、時価評価前)	貸借対照表上額 (時価)	評価差額	うち益	うち損
株式	0	0	-	-	-
債券	38,171	34,875	△ 3,295	10	3,306
国債	8,095	6,869	△ 1,225	10	1,235
地方債	11,124	10,041	△ 82	-	82
社債	23,743	22,063	△ 1,679	0	1,679
その他	5,208	4,899	△ 308	-	308
合計	38,171	34,875	△ 3,295	10	3,306

財務内容のご説明

■協金法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:千円)

区分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金 引当率 (C)/(A-B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和6年9月末	-	-	-	-	-	-
	令和7年9月末	50,235	-	50,235	50,235	100%	100%
危険債権	令和6年9月末	-	-	-	-	-	-
	令和7年9月末	-	-	-	-	-	-
要管理債権	令和6年9月末	-	-	-	-	-	-
	令和7年9月末	-	-	-	-	-	-
3月以上延滞債権	令和6年9月末	-	-	-	-	-	-
	令和7年9月末	-	-	-	-	-	-
貸出条件緩和債権	令和6年9月末	-	-	-	-	-	-
	令和7年9月末	-	-	-	-	-	-
小計	令和6年9月末	-	-	-	-	-	-
	令和7年9月末	50,235	-	50,235	50,235	100%	100%
正常債権	令和6年9月末	22,268,821					
	令和7年9月末	23,124,116					
合計	令和6年9月末	22,268,821					
	令和7年9月末	23,174,351					

(注) 協金法・金融再生法に基づく開示債権は、貸借対照表の貸出金及びその他資産中の未収利息及び仮払金並びに債権保証見返りについて、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として次のように区分します。

- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金です。
- 「3ヶ月以上延滞」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から3ヶ月以上延滞している貸出金(1及び2に掲げるものを除く)です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取り決めを行った貸出金(1、2及び4に掲げるものを除く)です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権(1、2及び3に掲げるものを除く)です。
- 「担保・保証等(B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込み額の合計額です。
- 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した個別貸倒引当金です。

■自己資本比率(新BIS基準)

自己資本比率	令和7年9月末	〈参考〉令和7年3月末
	22.25%	21.52%

■銀行勘定における金利リスク

(単位:百万円)

IRRBB:銀行勘定における金利リスク				
項目	△EVE		△NII	
	令和7年9月末	令和7年3月末	令和7年9月末	令和7年3月末
1 上方パラレルシフト	2,157	2,364	175	166
2 下方パラレルシフト	0	0	0	0
3 スティープ化	1,750	1,934		
4 フラット化				
5 短期金利上昇				
6 短期金利低下				
7 最大値	2,157	2,364	175	166
8 自己資本の額	当期末	8,661	前期末	8,582

■預金積金・貸出金の状況(業務別の状況)

(単位:百万円)

区分	令和7年9月末残高(構成比)		〈参考〉令和7年3月末残高(構成比)		
預金積金残高	65,362		65,997		
貸出金残高	23,174	100.0%	23,106	100.0%	
(業種別内訳)	医療・福祉	21,025	90.7%	20,823	90.1%
	個人(※)	2,149	9.3%	2,283	9.9%

(※)個人は勤務医に対する消費者ローン、住宅ローンです。